



## 専門技術者によるMSの測定・データ解析の支援を始めました

### 質量分析 (MS)

### 測定・データ解析をサポート

府中キャンパスでは、昨年末に遺伝子実験施設から6号館に移設された2台のMS

- ・ LTQ Orbitrap XL (Thermo Scientific)
  - ・ TOF/TOF 5800 (AB SCIEX) と、
- 大学院連合農学研究科棟にある
- ・ JMS-S3000 SpiralTOF (日本電子) の、
- 合わせて3台のMSがSCOPサポート体制下で稼働しています。

府中キャンパスに設置された3台のMSは、いずれも定性分析に力を発揮します。サンプルの性質、状態、量などを参考に、分析目的に適したご提案をさせていただきます。

また、測定済みのデータについて、データの解釈や解析法のサポート、より良い結果を得るためのご相談にも対応いたします。まずはメールにてご相談ください。



← **LTQ Orbitrap XL**  
**ESI-MS、LC-MS/MS**  
プロテオミクスや抽出物の分析などに対応。  
高い質量精度が特徴。



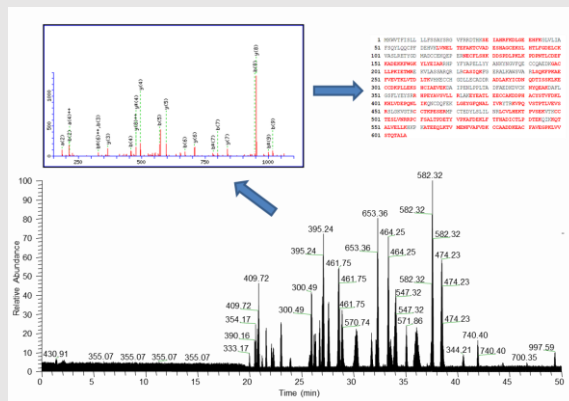
← **TOF/TOF 5800**  
**MALDI-TOF/TOFMS**  
(LC-MALDI対応予定)  
プロテオミクスやインタクトな蛋白質の分析などに対応。  
PMFなど手軽さが特徴。



← **JMS-S3000**  
**MALDI-SpiralTOFMS**  
有機低分子の精密質量、構造解析、合成高分子分析などに対応。  
高い質量精度が特徴。

現在、専門技術者2名（伊藤・久田）が対応しており、主に月・木に府中6号館104室で活動しています。

今後は、小金井キャンパス機器分析施設のMSもSCOPサポート体制のもとで分析支援を行い、全学的なよりよいサポート体制を作っていきたいと思います。



LTQ Orbitrap XL を用いた蛋白質の同定例  
サンプル：BSAトリプシン消化物(50 fmol)

MS 測定のサポートをご希望の方は  
窓口担当 [ymatsu@cc.tuat.ac.jp](mailto:ymatsu@cc.tuat.ac.jp)までお問合せ下さい。